

TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバル2021 Summer Lecture 2021 for Nanoscience/Nanotechnology (A日程)



西堀 英治 教授
にお話を伺いました

西堀 英治 教授
筑波大学数理物質系

7月下旬から8月中盤にかけて、Summer Lectureを開講しました。昨年度と同様に今年度もコロナのため、3月ごろより海外において第一線で活躍されている先生方を招聘しての対面、もしくはオンライン、アーカイブを使用したオンデマンドの3種類の可能性を状況に応じて検討してきました。6月中旬に招聘は難しいことからオンライン、オンデマンドの開催に決定し、海外の先生方から承諾を得ました。こうしたやり取りを進める中で、ビデオを配信するオンデマンドだけでなく、学生とのコミュニケーションをもっと取りたいという海外の先生からの要望を受け、最初のガイダンスはライブのオンラインで行うこと、最終試験だけでなく中間にもできる限りライブのオンライン配信を組み込むことになりました。ライブ配信が加わったことに伴い、オンデマンドの配信時期が7/20～7/31と、7/27～16日の2種類に分かれました。また最終試験と、ライブのオフィスアワーの日程も別々になりました。講義の受講と評価については、毎回の録画講義視聴後に短い問いに解答して理解度を確認し、ライブの最終試験をZOOM中継で個々の学生がプレゼンテーションを行い、それを講師が評価する昨年の形式を踏襲しました。

Summer Lecture はこれまで筑波大学で実施してきたナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム(オナーズプログラム)の主要な活動の一つとして実施されてきました。2016年度より講義の内容をナノサイエンス・ナノテクノロジー分野に拡大し、筑波大学数理物質科学研究科(群)と大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センターとの共同開催で実施しています。今年度の講義のテーマは、「透過型電子顕微鏡の基礎と材料科学への応用」、「放射光を使った光電子分光の基礎と応用」、「半導体物理と工学、ドーピング、欠陥、光学特性」と多岐にわたる内容でした。

講義と質疑は英語で行われ、海外講師による厳正な成績評価のうえ、正規履修の合格者は筑波大学大学院における単位(各科目1単位)として認定されます。また正規履修生に加えて聴講目的のみの学部・大学院生、教員にも講義を開放しました。3講義合計で延べ70名の受講生に、著名教授による大学院講義を体験してもらいました。講義はオンデマンドによる配信のため、学生の都合の良い日時に、録画された講義をじっくり視聴できたのではと思われます。また、ライブのオフィスアワーやEmailを介して講師と学生間で意見交換も盛んに行われました。最終試験でのプレゼンテーションも問題なく進められました。講師の先生方および大阪大学の協力により、無事にやり遂げられて安堵しています。

最後に、本活動を支援して頂いた教員を始め、技術職員の皆様、TIA推進室の皆様から感謝いたします。

期間	【A日程】 2021年7月20日(火)～8月26日(木) ※8/6,19,20,26 : 最終テスト(ZOOM)
会場	アーカイブ授業のオンデマンド配信、ZOOMによるオンライン方式
主催	筑波大学大学院数理物質科学研究群、大阪大学ナノサイエンスデザイン 教育センター
構成	3講義、各8コマ(+1コマ最終試験あり)
参加者数	70名(大学院生 64名、社会人 6名) ※3講義合計

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<https://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1